

お知らせ

国営滝野すずらん丘陵公園

10月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)

森のおさんぽガイド

自然豊かな滝野の森をボランティアガイドとおさんぽしましょう！森の中で山野草や樹木、生きものを観察したり、開拓の歴史のあとを見ながらトレッキング気分です。

- 参加費 無料(入園料・駐車料金は別途)
- 場所 森の情報館(滝野の森ゾーン・西エリア)
- 時間 10:30～(60分～90分間程度)
- 定員 4組(1組最大5名)

※申し込み：滝野管理センター(011-594-2222)、WEB。グループごとにガイドが付きます。園路は未舗装路です。森歩きのできる服装でお越しください。

10月16日(土)、17日(日)

水鏡に映る紅葉を見よう

中央口水の広場に映る紅葉をご覧ください。滝の修景で流れる滝循環ポンプを一時的に停止し、水面が動かないようにします。

- 参加費 無料(入園料・駐車料金は別途)
- 場所 中央口水の広場
- 時間 9:30～11:00

※紅葉の状況で日程は前後します。雨天中止。

10月14日(木)、21日(木)、28日(木)

森ヨガ

自然を感じながらヨガを体験できる「森ヨガ」！天気の良い日には木漏れ日を浴びながらお外でお楽しみいただけます。

- 参加費 500円/お菓子、保険代(駐車料金は別途)
- 定員 14名
- 場所 森の交流館(滝野の森ゾーン・東エリア)
- 時間 11:00～12:30
- 対象 中学生以上

※講師：田中しのぶ先生(日本ヨガ研修道場認定講師)。ヨガマット、ヨガブロック、毛布の無料レンタルあり。

※申し込み：滝野管理センター(011-594-2222)、WEB。

※詳細は当公園ホームページ(URL：<http://www.takinopark.com/>)をご覧ください。滝野公園案内所(011-592-3333)までお問い合わせください。



研究所だより

北海道の秋は主要な農作物の収穫期です。今年の夏は記録的な暑さでしたから、稲の生育も進み、空知の米どころでは刈取りが1週間ほど早まりました。米の作柄も「やや良」と見込まれています。昨年道産米の作柄は「良」でしたが、外食等の需要が減り、主力品種の「ななつぼし」の販売は苦戦しました。秋の味覚と一緒に道産米を食べて応援しましょう。一方、全国も昨年の作柄は「平年並み」で水稲の生産量は776万トンでしたが、これは、大冷害で「外米」を輸入した平成5年の国内生産量781万トンを下回っています。さらに、昨年の食料自給率は、平成5年を下回り最低の37%となりました。お米は、高齢化等を背景に1人当たり消費量の減少が続いているため、やむを得ない面があるのですが、小麦や大豆、野菜類の消費は堅調に推移しているにも拘らず、水稲の作付面積の減少分を、そうした作物の生産に振り向けられていないということです。要因の一つは、労働力不足です。農家の農作業従事者数は、最近の20年間で3分の1近くにまで減少しました。野菜等の生産には人手を要する作業が少なくありませんから、そうした作物の生産を拡大する余力が少なくなっているようです。ロボットの活用など、省力的な栽培技術の開発を進めるとともに、コロナ禍で経験したように、農家以外で副業的に農業を手伝う人たちも、担い手として確保していく必要があるでしょう。(黒崎)



●「開発こうほう」へご意見・感想をお寄せください。

(一財)北海道開発協会広報研修出版部

〒001-0011

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル

電話 011(709)5212

e-mail:pr@hkk.or.jp

●「開発こうほう」は、北海道開発協会のホームページでもご覧いただけます。

●(一財)北海道開発協会では、賛助会員を募集しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

開発こうほう 第698号 令和3年9月30日発行

発行 (一財)北海道開発協会

印刷 (株)須田製版 不許複製

<https://www.hkk.or.jp/>